

そこで、学級集会活動を仕組む際に「めあて」を大事にします。
教師から仕掛ける場合には、学級目標につながる「めあて」を意識して、内容を考えます。
子どもたちから提案があった場合には、「その集会をすることで、学級の何がよくなるか」を意識させて、内容を考えさせます。

ここをないがしろにして取り組むと、
「ほら、やっぱり特活って遊んでいるだけだ」という声が返ってくるのです。

後は、いかにして子どもたちの意欲を高めつつ、集会を実施していくかです。

次号から、学級づくりを意識して取り組んだ学級集会例を紹介します。

2 第11回希望の会in山口, 山口学級活動ネットワーク冬の学習会報告 その3

去る1月11日、山口県セミナーパークで行った「第11回希望の会in山口&山口学級活動ネットワーク冬の学習会」での内容についてお知らせします。

今回は「すぐに役立つ実践発表」ということで提案してくれた、岡山県赤磐市立軽部小学校の岸本勝義先生の発表内容についてです。

もともとは社会科が専門という岸本先生は、係活動に官公庁の名前を取り入れるなどのユニークな実践などを紹介しながら、「特活や学活はこうでないといけない」と勝手に枠を決めてしまっていてそれはできないだろうと実践をとまどったり、型にはまった実践や活動をしてしまったりする傾向や実態があることに警鐘を鳴らしてもらいました。

そこには、特活はもっと柔軟に活動できる領域であるという考えがあり、「ちょっと工夫する」「ちょっと見方を変える」だけで、子どもたちが楽しく動くようになる、活動を促すことができる、意欲を高める活動になるという実践を提案されました。「活性化している学級の特徴」を紹介されたあと、「ちょっとしたこだわり」ということで、

- 学級目標 ちょっとしたこだわり
- 学級のシンボル ちょっとしたこだわり
- 集会活動 ちょっとしたこだわり
- 朝の会・帰りの会 ちょっとしたこだわり

という4つを紹介してくれました。岸本先生のキャッチフレーズは「教師のちょっとしたこだわりが子どもたちの力を高め、学級を活性化させることができる」とい

うことで、そこには岸本流「こだわり術」が満載でした。

3 春の学習会のお知らせ

山口学級活動ネットワーク

恒例となりました「春の学習会」を今年も行います。

日時は4月4日（土）の午後1時30分からです。

山口では、4月8日から新学期が始まります。そこで、「子どもたちとの出会いをいかに演出するか」と「学級づくりのプランを考える」をテーマに行います。

超多忙な春休みの貴重なお休みの日ですが、「学級づくりの1年の計は4月にあり」とも言われます。半日だけお付き合いしませんか？

4 メルマガ編集部からのお知らせ

◆次号の予告◆◇◆

第74号は3月下旬ごろ発行予定です。

次号も、第1特集は「学級集会づくり」について、第2特集では「冬の学習会」についてお知らせします。

◆山口学級活動ネットワーク メールマガジンの登録について◆◇◆

現在の購読者は240名です。これまで以上に内容を充実させていく必要を感じています。もっともっとメルマガ仲間が増えるといいなと思っています。お知り合いの方にこのメルマガを紹介してください。登録については、山口学級活動ネットワークのホームページをご参照ください。

url: <http://www.yamakoshu.org/gakkatu-net/>

◆内容の充実について◆◇◆

このメールマガジンでは、読者のみなさんのニーズに応える紙面作りに取り組んでいこうと思っています。こんな内容について書いて欲しい。こういう情報が欲しい、ということをお知らせください。

sugi-net@c-able.ne.jp

本年度中に特別活動の年間計画をつくる必要があります。そのあたりについても

可能な限り書いていこうと思います。

◆実践投稿のお願い◆◇◆

読者のみなさん、みなさんが取り組まれている情報を送ってください。学級づくりの実践を広げ、共有していきましょう。

本メールマガジンでは、次のようなテーマで情報交換を行ってみようと考えています。どんな小さな事でもけっこうです。情報をお待ちしています。

*こんな時、どうする？コーナー

学級での生活の中でのいろいろな場面を想定し、その時、どういう手立てをうてばよいか、についての実践を紹介してください。これまでに取り組まれたことのある実践もお待ちしています。

*学級づくりで、はっ！とさせられたこと

長く学級担任をやっていると、自分のやり方が当たり前になってしまっていることに気づかされることがあります。それを教えてくれるのが子どもたちだったりします。そういう出来事や子どもたちのつぶやきを紹介してください。

*子どもってすごいなあ！と思ったこと

子どもがもっているものって素晴らしいです。子どもたちといると、「子どもってすごいなあ」と感心させられることが多々あります。子どもたちのそういう姿を紹介し合いませんか。

みなさんも、ぜひ以下のアドレスまでよろしくお願いします。

sugi-net@c-able.ne.jp

=====

山口学級活動ネットワーク メールマガジン

☆ご感想・ご意見はsugi-net@c-able.ne.jpまで

☆編集・発行 山口学級活動ネットワーク メールマガジン編集部

梶田崇晴（山口市立平川小）

津村元文（美祢市立伊佐小）

吉田哲朗（山口大学教育学部附属山口小）

西田智行（下関市立垢田小）

=====